



2017年7月12日

株式会社東京スター銀行

株式会社新生銀行

株式会社アプラスフィナンシャル

東京スター銀行と新生銀行グループのアプラス 中国人向け決済サービス「WeChat Pay」に関する業務提携について

株式会社東京スター銀行(東京都港区、代表執行役頭取 CEO 佐藤 誠治、以下、「東京スター銀行」)と株式会社新生銀行(東京都中央区、代表取締役社長 工藤 英之、以下、「新生銀行」)のグループ会社である株式会社アプラス(本店:大阪市、東京本部:東京都千代田区、代表取締役社長 渡部 晃、以下、「アプラス」)は、中国人向けモバイル決済サービス「WeChat Pay(微信支付)」の紹介斡旋に関する業務提携契約を2017年7月12日付で締結いたしました。

「WeChat Pay(微信支付)」とは、中国騰訊控股有限公司(Tencent Holdings Ltd.、以下、「Tencent」)が運営する中国最大の SNS サービス「WeChat(微信)」で提供される中国人向けモバイル決済サービスで、アプラスは、WeChat Pay の日本での決済代行サービスを提供しています。

東京スター銀行は、ノンリコースファイナンス・買収ファイナンスなどのストラクチャードファイナンス等、お客さまの個別のニーズに合わせた付加価値の高い先進的なソリューションを提供しておりますが、それらに加え、リレーションをベースにしたお客さまの多様なニーズに応える総合取引の推進に取り組んでおります。本提携はその取り組みの一環で、急増する訪日中国人観光客を呼び込むために WeChat Pay の導入を検討するお客さまに対してアプラスを紹介してまいります。

新生銀行グループでは、アプラスを事業主体として、Tencent グループの財付通支付科技有限公司(Tenpay Payment Technology Co., Ltd.、以下、「Tenpay」)が提供する中国人向けモバイル決済サービス WeChat Pay について、Tenpay との日本での決済代行サービスの提供合意(※)に基づき、国内の WeChat Pay 利用店舗の開拓と利用店舗網の迅速な構築に取り組んでいます。これまで、総合免税店を展開するラオックス株式会社やイオングループで総合スーパー事業を展開するイオンリテール株式会社、タクシー会社を持つ日本交通グループ、東京・銀座の百貨店、マロニエゲート銀座などで導入が始まっています。アプラスでは、WeChat Pay の利用店舗の拡大に引き続き積極的に取り組んでまいります。

(※)平成28年4月13日公表の「新生銀行グループにおける中国人向け決済サービス『WeChat Pay』の日本での決済代行サービスへの参入について」をご参照ください。